
四日市市
在宅生活改善調査
報告書

令和5年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 調査結果	2
(1) 事業所票	2
① 貴事業所の概況について	2
(2) 利用者票	5
① 対象となる利用者の状況等について	5
② 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由	7

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行うにあたり、介護保険事業者の現状等について把握し、今後の四日市市の介護保険事業及び高齢者福祉施策のための基礎的な資料を作成するために実施しました。

(2) 調査の実施について

対象	市内の居宅介護支援事業所(居介・包括)、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護
実施期間	令和4年12月14日(水)～令和4年12月31日(土)
実施方法	WEB調査

(3) 有効回答件数及び回答率

	対象数	有効回答数	有効回答率
事業所票)	87件	25件	28.7%
(利用者票)	-	53件	-

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer =いくつでも)、3LA (3 Limited Answer =3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。

2. 調査結果

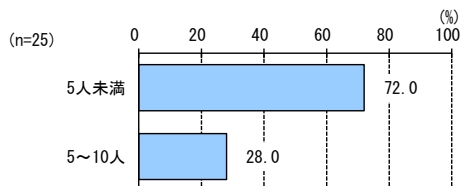
(1) 事業所票

① 貴事業所の概況について

- 問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご入力ください。

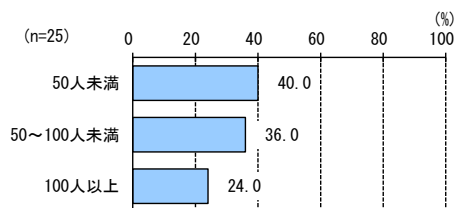
- 所属するケアマネジャーの人数について、「5人未満」が72.0%、「5～10人」が28.0%となっています。

【所属するケアマネジャーの人数】



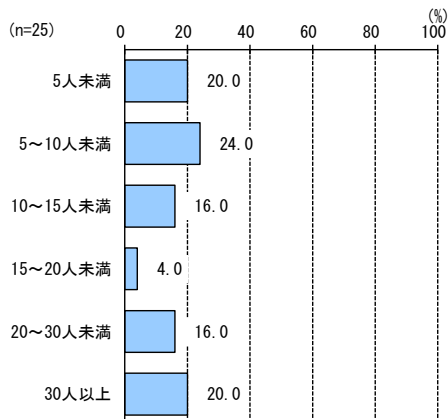
- 「自宅等(有料老人ホーム等を除く)」にお住いの利用者数について、「50人未満」が40.0%で最も多く、次いで「50～100人未満」が36.0%、「100人以上」が24.0%となっています。

【「自宅等(有料老人ホーム等を除く)」にお住いの利用者数】



- 「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」にお住いの利用者数について、「5～10人未満」が24.0%で最も多く、次いで「5人未満」「30人以上」が20.0%、「10～15人未満」「20～30人未満」が16.0%となっています。

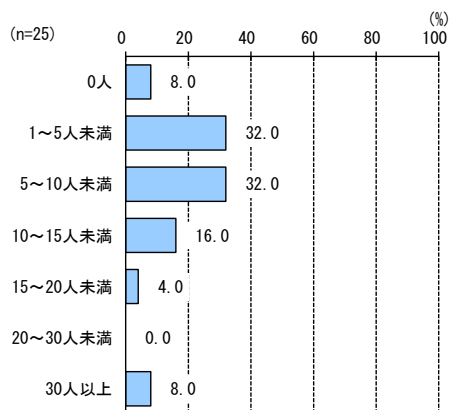
【「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」にお住いの利用者数】



- 問2 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）」をご記入ください。

○ 自宅等から、居場所を変更した利用者数について、「1～5人未満」「5～10人未満」が32.0%で最も多く、次いで「10～15人未満」が16.0%、「0人」「30人以上」が8.0%となっています。

【自宅等から、居場所を変更した利用者数】



【要介護度別の人数】

		居場所を変更した利用者数	
		合計人数	比率(%)
合計		216	100.0
要介護度別	要支援1	6	2.8
	要支援2	9	4.2
	要介護1	80	37.0
	要介護2	38	17.6
	要介護3	38	17.6
	要介護4	35	16.2
	要介護5	10	4.6

- 問3 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）」をご記入ください。

○ 居所変更先について、死亡を除くと四日市市内・市外ともに「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」が最も多くなっています。（市内：88人、市外18人）

【居所変更先別の人数】

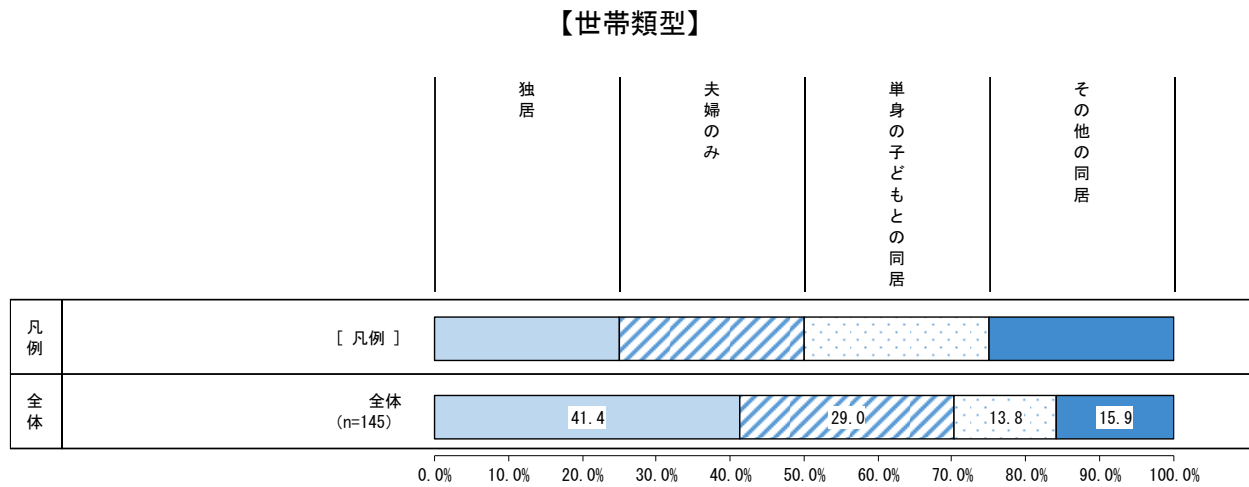
居所変更先別の人数				
	四日市市内		四日市市外	
	合計人数	比率(%)	合計人数	比率(%)
兄弟・子ども・親戚等の家	6	2.8	5	2.3
住宅型有料老人ホーム	38	17.6	1	0.5
軽費老人ホーム (特定施設除く)	1	0.5	0	0.0
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	88	40.7	18	8.3
グループホーム	5	2.3	0	0.0
特定施設	0	0.0	1	0.5
地域密着型特定施設			0	0.0
介護老人保健施設	10	4.6	0	0.0
療養型・介護医療院	1	0.5	0	0.0
特別養護老人ホーム	37	17.1	0	0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	0.9	0	0.0
その他	3	1.4	0	0.0
カテゴリ	合計人数	比率(%)		
行き先を把握していない	0	0.0		
死亡 (※搬送先での死亡を含む)	167			
合計(死亡以外)	216	100		

(2) 利用者票

① 対象となる利用者の状況等について

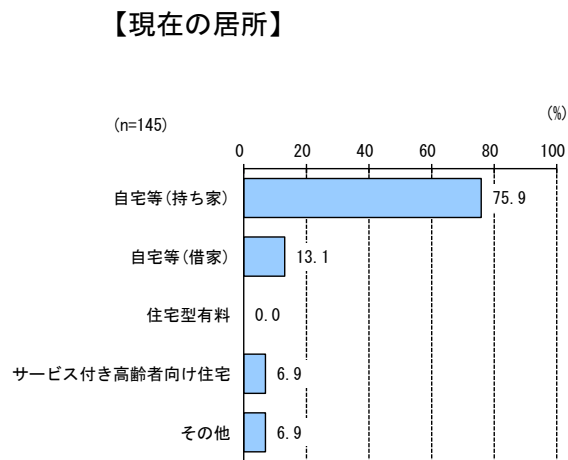
●問1-1 世帯類型

○ 世帯類型について、「独居」が41.4%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が29.0%、「その他の同居」が15.9%となっています。



●問1-2 現在の居所

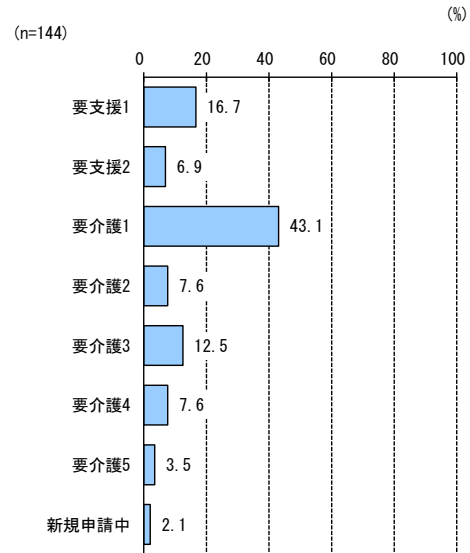
○ 現在の居所について、「自宅等(持ち家)」が75.9%で最も多く、次いで「自宅等(借家)」が13.1%、「サービス付き高齢者向け住宅」「その他」が6.9%となっています。



●問1-3 要支援・要介護度

○ 要支援・要介護度について、「要介護 1」が 43.1%で最も多く、次いで「要支援 1」が 16.7%、「要介護 3」が 12.5%となっています。

【要支援・要介護度】

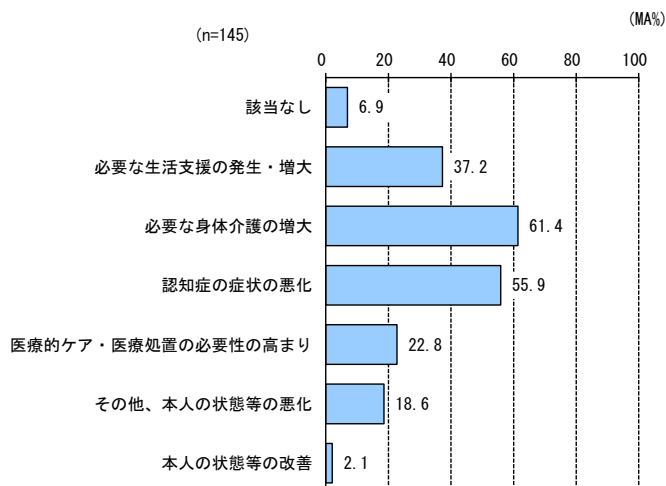


② 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由

- 問2-1-① 本人の状態等に属する理由について、お答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

○ 本人の状態等に属する理由について、「必要な身体介護の増大」が61.4%で最も多く、次いで「認知症の症状の悪化」が55.9%、「必要な生活支援の発生・増大」が37.2%となっています。

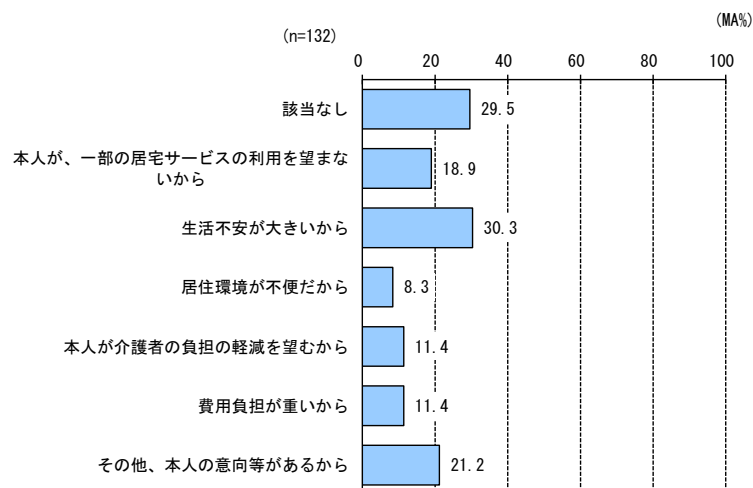
【本人の状態等に属する理由(MA)】



- 問2-2-② 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

○ 主に本人の意向等に属する理由について、「生活不安が大きいから」が30.3%で最も多く、次いで「該当なし」が29.5%、「その他、本人の意向等があるから」が21.2%となっています。

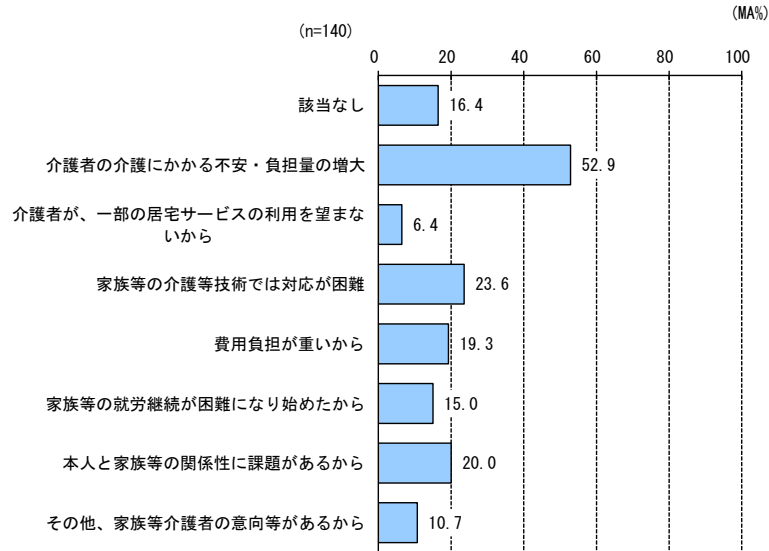
【主に本人の意向等に属する理由(MA)】



●問2-3-③ 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください

○ 主に家族介護者の意向・負担等に属する理由について、「介護者の介護にかかる不安・負担量の増大」が 52.9%で最も多く、次いで「家族等の介護等技術では対応が困難」が 23.6%、「本人と家族等の関係性に課題があるから」が 20.0%となっています。

【主に家族介護者の意向・負担等に属する理由(MA)】

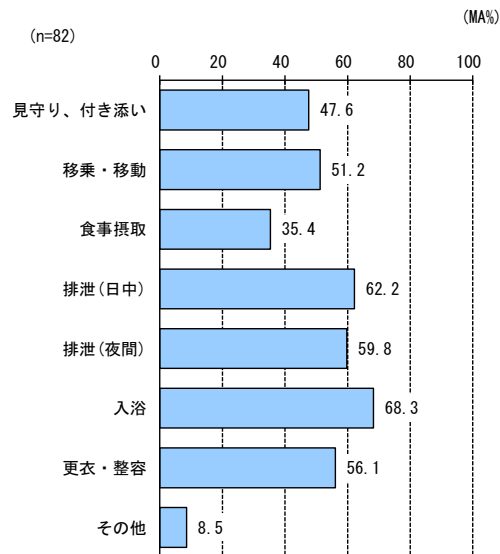


【問2-1で「3. 必要な身体介護の増大」を選んだ人にお伺いします。】

●問2-4 理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

○ 理由となる具体的な「身体介護」について、「入浴」が 68.3%で最も多く、次いで「排泄(日中)」が 62.2%、「排泄(夜間)」が 59.8%となっています。

【理由となる具体的な「身体介護」(MA)】

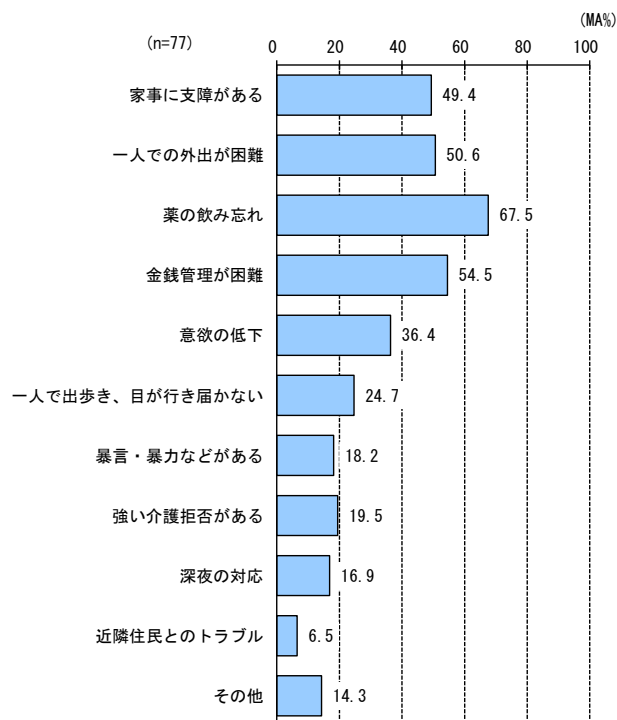


【問2-1で【「4. 認知症の症状の悪化」を選んだ人にお伺いします。】

●問2-5 理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

○ 理由となる具体的な「認知症の症状」について、「薬の飲み忘れ」が67.5%で最も多く、次いで「金銭管理が困難」が54.5%、「一人での外出が困難」が50.6%となっています。

【理由となる具体的な「認知症の症状」(MA)】

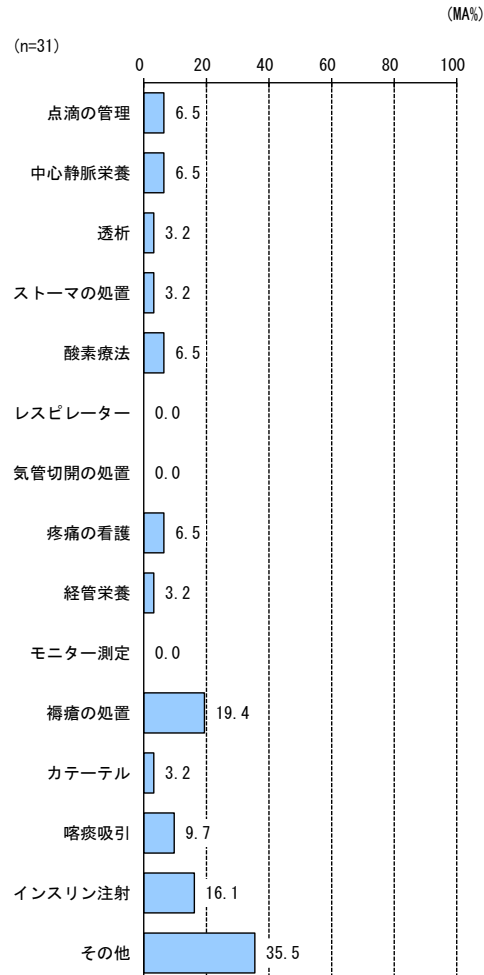


【問2-1で【「5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」を選んだ人にお伺いします。】

●問2-6 理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

○ 理由となる具体的な「医療的ケア」「医療処置」について、「その他」が 35.5%で最も多く、次いで「褥瘡の処置」が 19.4%、「インスリン注射」が 16.1%となっています。

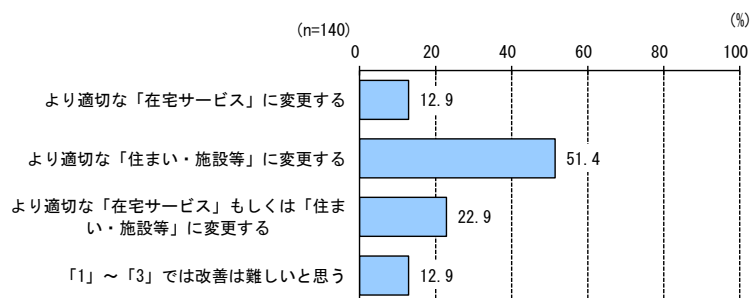
【理由となる具体的な「医療的ケア」「医療処置」(MA)】



●問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。（番号1つ選択記入）

○ 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、変更することで改善できると思うサービスについて、「より適切な「住まい・施設等」に変更する」が 51.4%で最も多く、次いで「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」が 22.9%となっています。

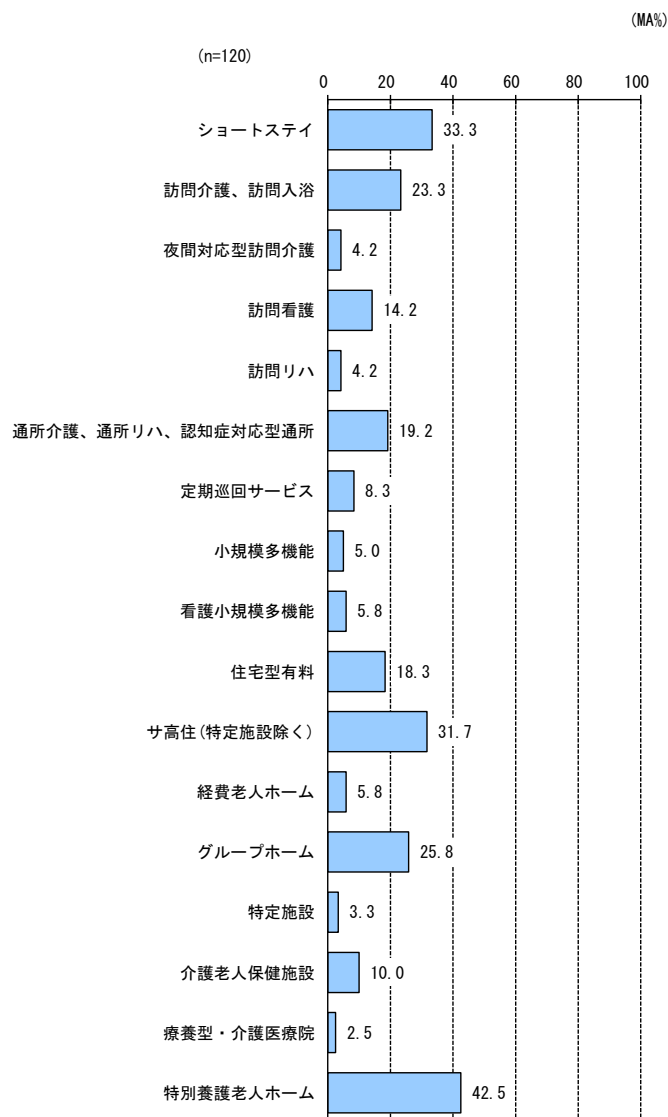
【変更することで改善できると思うサービス】



- 問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

○ 本来であればより適切と思われる具体的なサービスについて、「特別養護老人ホーム」が42.5%で最も多く、次いで「ショートステイ」が33.3%、「サ高住(特定施設除く)」が31.7%となっています。

【本来であればより適切と思われる具体的なサービス (MA)】

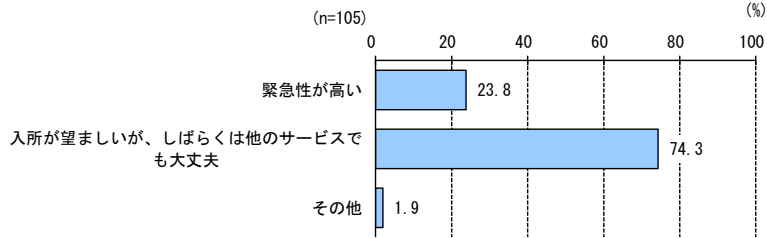


【問3-2で「10.」～「17.」を選んだ人にお伺いします。】

●問3-3 利用者の入所・入居の緊急度をお答えください（番号1つ選択記入）

○ 「住まい・施設等」を選んだ場合の利用者の入所・入居の緊急度について、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が 74.3%で最も多く、次いで「緊急性が高い」が 23.8%、「その他」が 1.9%となっています。

【「住まい・施設等」を選んだ場合の利用者の入所・入居の緊急度】

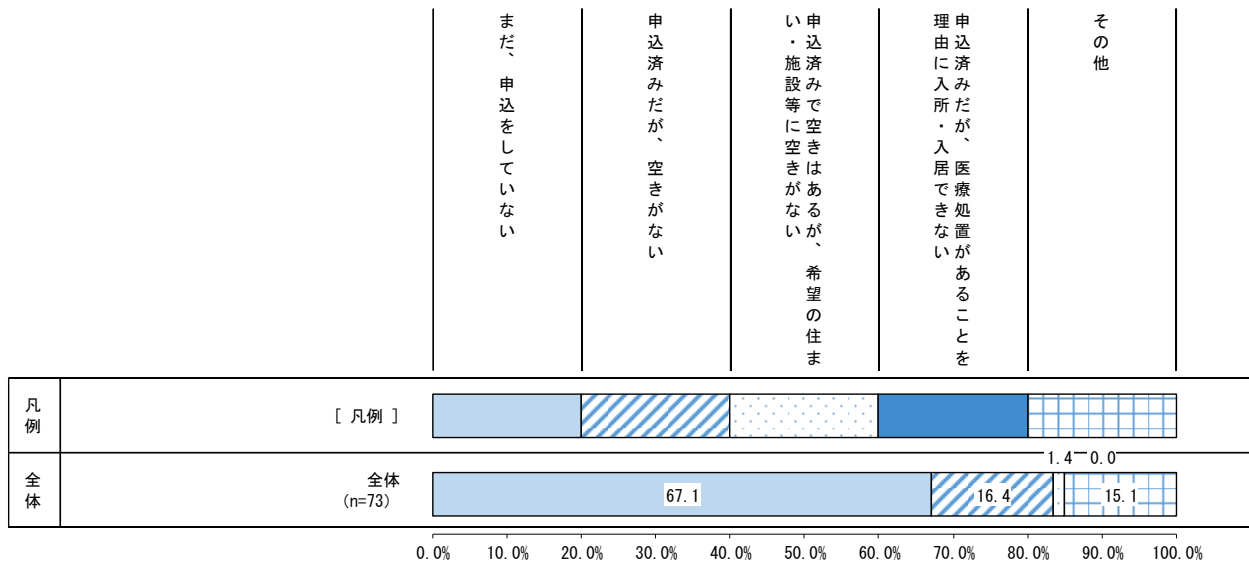


【問3-2で「10.」～「16.」(※特養以外)を選んだ人にお伺いします。】

●問3-4 入所・入居できていない理由をお答えください（番号1つ選択記入）

○ 「住まい・施設等」を選んだ場合で「特養以外」に入所・入居できていない理由について、「まだ、申込をしていない」が 67.1%で最も多く、次いで「申込済みだが、空きがない」が 16.4%、「その他」が 15.1%となっています。

【「住まい・施設等」を選んだ場合で「特養以外」に入所・入居できていない理由】



【問3-2で「17.」（※特養）を選んだ人にお伺いします。】

●問3-5 特養に入所できていない理由をお答えください（番号1つ選択記入）

○ 「住まい・施設等」を選んだ場合で「特養」に入所できていない理由について、「まだ、申込をしていない」が58.8%で最も多く、次いで「申込みだが、空きがない」が19.6%、「その他」が17.6%となっています。

【「住まい・施設等」を選んだ場合で「特養」に入所できていない理由】

